

いないいないばあ

● 発行元 ●

日本赤十字社富山県支部受託
富山県立乳児院
富山市牛島本町2丁目1番38号
電話 076-432-8137
FAX 076-432-8238

— 令和6年 夏号 —



夏野菜を植えました！大きく大きく
おいしくな～れ！
水遊びもたくさんしたいな♡

〈富山県立乳児院ってどんなところ？〉

いろいろな事情により、家庭で育てることができない乳幼児
(0～3歳まで)を保護者にかわって24時間養育する施設です。
(児童福祉法37条に規定された児童福祉施設です。)



ご寄付、ご寄贈 ありがとうございました。

	お名前			
<4月>	翠田さん（富山市） 西野さん（富山市）	吉岡さん（富山市） 山元さん（射水市）	吉田さん（黒部市）	吉野さん（富山市）
<5月>	恒枝さん（射水市） 吉田さん（黒部市）			
<6月>	平井さん（富山市） 清水さん（富山市） 細川さん（立山町）			

※同意していただいた方のお名前のみ記載しています

富山県立乳児院の理念・基本方針

●理念

児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全で安心できる良質な生活の場を提供します。

●基本方針

1. 入所児童を中心に安全で安心できる生活の場を提供します。
2. 個人情報は大切に保管、管理します。
3. 児童相談所や、地域と連携して入所児童や、ご家庭を支援します。
4. 職員や実習生に対する教育を充実し、次代を担う養育者を育成します。
5. 災害時（地震・火事・水害）の救護に関して訓練致します。
6. 常に赤十字病院と連携し、病気等に対して迅速に対応します。
7. 入所児童の健全な発育を促進し、保健衛生に心がけます。

「苦情申出窓口」の設置について

富山県立乳児院では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

苦情解決責任者、苦情受付担当者及び苦情解決相談員を下記により設置し、子どもが健全に育つよう、利用者の方に安心していただけるよう苦情解決に努めることとしていますので、些細なことでもお気づきの点がございましたらどうぞお聞かせください。

- | | |
|------------|----------------------------------|
| 1 苦情解決責任者 | 久道 晴美（院長補佐） |
| 2 苦情受付担当者 | 荒川 智江子（事務長） |
| 3 苦情解決相談員 | 本間 一正、 岡田 芳美 |
| 4 苦情解決の方法 | 担当者が随時、面接、電話、書面などにより受け付けます。 |
| 5 苦情解決の連絡先 | 電話：076-432-8137 FAX：076-432-8238 |

管理栄養士より

もぐもぐだより

クッキングの日に、みんなでクレープを作りました。
自分でフルーツをのせたり、生地で包んだり、それぞれ
真剣な顔で取り組んでいました。出来上がったクレープを
美味しそうに頬張る様子が、とても可愛かったです♡



これからの行事

9月

運動会



10月

秋の遠足
ハロウィン



富山県里親支援機関事務局



富山県里親講演会

◇◇『広めよう里親 in とやま2024』を開催します◇◇



日時：令和6年9月14日（土）13：30～15：30

場所：富山県民共生センター サンフォルテ ホール



第1部

里親って何？
里親制度説明

第2部

基調講演
「児童養護施設で
育つ子どもたち」



第3部

パネルディスカッション
「養育のバトンをつなぐ」



病児保育室 おひさま

0歳～未就学児のお子さんで、病気や病気回復期にあるため
集団保育や家庭での保育ができない時に、一時的にお預かりする保育室です。

利用時間 月曜日～金曜日 8：00～17：30

（ただし、祝日、5/1、12/29～1/3は除く）

利用料 1回2000円（昼食・おやつ代含む）

とやまっ子子育て応援券の利用できます。
富山市ひとり親家庭病児保育利用料助成制度の利用も可能です。



全国的に手足口病が流行っています
手洗いを行い、感染を広げない様に
気を付けましょう

お問合せ (080) 8697-2773(直通) 電話受付時間 7：30～17：00

※但し状況に応じて電話に出られない場合がありますので、あらかじめご了承下さい。



えんぞく



5月24日(金)みんなで手をつなぎ、牛島公園に行きました。

「あ！ダンブカー」「赤のお花」と周囲のものにも興味津々で足どりも軽く、公園に到着しました。公園では、小さなお友だちは砂場で楽しみ、大きなお友だちは遊具やSLで元気に遊びました。お散歩中の犬にも会い「ワンワンいた」と怖がることもなく、近付いていく子どもたち。天気も良く、公園にはたくさんの笑顔があふれていました。

お昼ご飯は乳児院にもどり、卵やジャムなどのサンドウィッチ弁当を食べました。みんなおかわりをして大好評でした。

また、みなんでお出かけしようね。



7月4日(木)に七夕まつりを行いました。

職員が子どもたちのために願いごとを書いた短冊や、色とりどりの七夕飾りがお部屋を彩り、七夕気分を盛り上げます。それぞれの担当職員が選んだ甚平に着替えた子どもたちは、織姫や彦星に負けないかわいらしさです。

おやつもちょっぴり特別に、チョコスプレーをかけおめかししたアイスクリームを楽しみます。

一口食べて、その冷たさにちょっとびっくりしながらも、おいしい笑顔の花が咲きます。

ペープサートや、七夕にちなんだお話や歌をみんなで楽しんだ後は、今日のために特別に用意した遊びコーナーへ。さかなつりやボールプール、歩いて渡れる天の川など、普段と違う遊びを元気いっぱい楽しみました。

最後はバルーン遊びです。職員手づくりの、直径3メートルはあろうかという大きなパラバルーンをみんなで持ち、音楽に合わせて上下に振ったり、高く持ち上げたりと、息を合わせて動かします。職員も一緒に、全身を使って気持ちよい汗を流しました。

程よく疲れてお昼寝へ。かわいい寝顔を見ながら、みんながいつまでも元気で楽しく過ごせますようにと願いごとをしたのでした。



7月2日(火)に、北陸中日新聞社会事業団様より図書カードのご寄付をいただきました。贈呈式では、北陸中日新聞の嶋津富山支局長(写真右)から平岩院長(写真左)に手渡されました。子どもたちが大好きな絵本の購入に使わせていただきます。ありがとうございました。